

報道関係者の皆様へ



雲南市

情 報 提 供

令和 7 年 9 月 25 日(木)

担 当 課 (担 当 者)	市民環境部環境政策課 (松 蔭)
電 話	0854-40-1033
F A X	0854-40-1039

Press Release

送付文書 2枚(本状のみ)

開催日: 10 / 7 (火)

脱炭素社会実現のための共創による地域づくりの推進に関する連携協定の締結について

本件のポイント:2050 年脱炭素社会実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって推進することを目的に連携協定を締結します。

内 容

雲南市地域自主組織連絡協議会と株式会社うなん共創エネルギー、雲南市が緊密に連携しながら互いの資源を有効に活用し、共創による地域づくりを推進することにより、地域の諸課題に迅速かつ的確に対応し、雲南市内の地域課題解決及び脱炭素社会実現に資することを目的に連携協定を締結します。

日 時: 令和 7 年 10 月 7 日(火) 11 : 00 ~ (12:00頃終了見込)

場 所: 雲南市役所 5 階全員協議会室

参加者: 雲南市地域自主組織連絡協議会 会長 ^{はた よしゆき} 秦 美幸 氏
株式会社うなん共創エネルギー 代表取締役 ^{なかじま たかふみ} 中嶋 崇史 氏
雲南市長 石飛厚志

内 容: ・開会

- ・市長あいさつ
- ・概要説明
- ・協定締結
- ・締結者よりあいさつ
- ・記念撮影



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市

【協定の概要】

脱炭素実現計画に基づき、

- (1) 地域脱炭素の推進
- (2) 共創による地域づくりの推進
- (3) 普及啓発・人材育成の推進

などを、雲南市地域自主組織連絡協議会と株式会社うんなん共創エネルギー、雲南市が連携して取り組む内容。

【提携先の概要】

▶雲南市地域自主組織連絡協議会

地域自主組織は、地域内の自治会や消防団、PTA などのさまざまな団体により構成された地域運営組織です。

おおむね小学校区単位に設けられており、現在、30の組織が結成され、交流センターを拠点に、「地域づくり」・「地域福祉」・「生涯学習」の3つの分野を中心に取り組みが展開されている。

▶株式会社うんなん共創エネルギー

本年2月、公募により株式会社リクロスエクспанション（会社概要は以下のとおり）を選定後、市内に新たな事業会社として株式会社うんなん共創エネルギーが誕生。
株式会社リクロスエクспанションが95%出資、雲南市も5%出資。

▶株式会社リクロスエクспанション（東京都新宿区）

代表取締役の中嶋崇史さんが早稲田大学環境総合研究センター客員次席研究員の経験を活かし、2014年4月に設立。エネルギー・リサイクル分野のビジネスプロデュースを得意領域とし、2018年には球磨村との連携協定に基づき地域新電力会社として株式会社球磨村森電力（熊本県球磨村）を設立。2022年には環境省「脱炭素先行地域※（第1回）」に選定される。また、2023年には熊本県あさぎり町において(株)あさぎりエナジーを設立し、環境省「脱炭素先行地域（第3回）」に選定される。さらに、2023年に熊本県五木村において(株)五木源電力を設立し、脱炭素先行地域で得られた知見の横展開を進めている。複数の地域と連携し、地域脱炭素を進めるとともに、様々な地域貢献や域外交流人口の増加にも貢献するなど、地域へ裨益する取組を実践されている。こうした取組が評価され、代表取締役の中嶋崇史さんは、環境省の脱炭素まちづくりアドバイザーに就任されている。※2050年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030年度までに「民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現するモデル地域。最大50億円が自治体に交付される。